

ヨガトレ[®]教育 実践導入

子どもたちの発育を支える持続可能な身体教育の実践

0～12歳の身体発達を支える教育モデル

現場と共に進化し続ける身体教育です。

体系的構造

発達段階に基づいた
確かな土台

現場との対話

共に歩み、進化するための
コミュニケーション

持続可能な運用

子どもたちの発育を支える
環境づくりを探究

共に歩む現場と対話を重ね、持続可能な運用スタイルを築きながら、
子どもたちの発育を支える環境づくりを探究していきます。

ヨガトレ®教育 導入対象フィールド

現場の目的や課題、対象年齢に応じて最適な実践モデルを設計する。



導入対象フィールド

乳幼児教育

小学校

小児歯科

矯正歯科

療育施設

対象年齢

0～6歳
[発達構造形成期]

6～12歳
[発達構造積層期]

※乳幼児教育には、保育園・認定こども園・幼稚園・プリスクール等を含みます

構造：発達段階に基づいた三層アプローチ

年間設計を行い、実践・運用・定着まで伴走

インプット

インナーメイク

リセット

3年間

発達段階に基づいたこの3層構造を軸に、現場の文化として根付かせます。

3年間の支援プロセス

ヨガトレ®教育は、導入して終わるものではなく、実践・定着・自走へと段階的に育てていく支援モデルです。3年間を通して、現場に合った運用スタイルの確立を目指します。

導入

現場理解と土台づくり

実践

日常の中で活用を開始

定着

継続的な運用へ

自走

現場主体の実践へ

各段階を支える主な支援内容

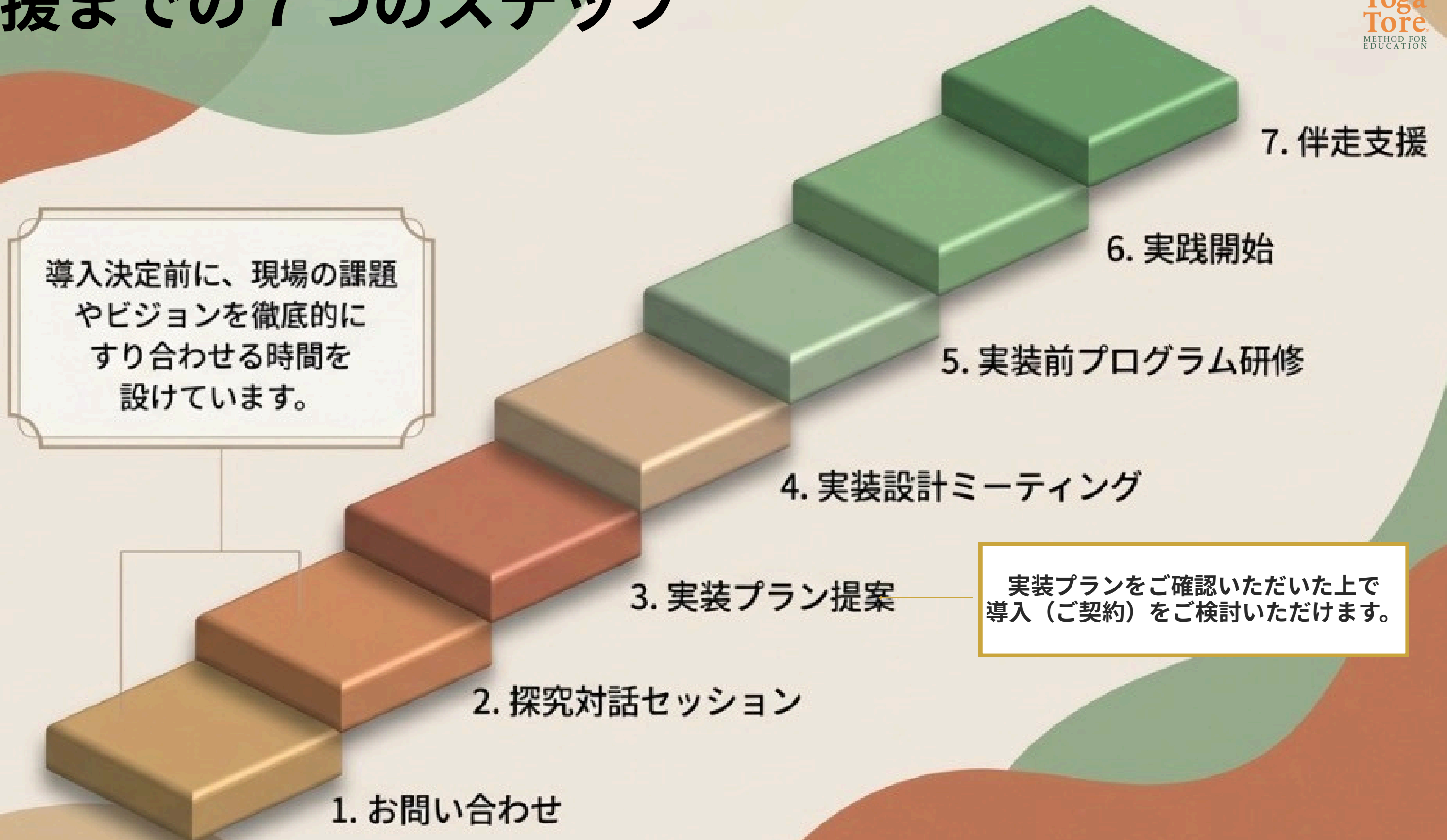
実装前プログラム研修(10時間)

月1回ミーティング

日常実践サポート

評価設計支援

導入支援までの7つのステップ



質を担保するための「限定実装」



年間実装拠点数：6 拠点

一つひとつの現場と丁寧に向き合い、持続可能な運用モデルを確固たるものにするため、導入数を厳格に限定しています。



[2026年度] → 実装終了



[2027年度] → 導入希望受付中

まずは、現場の「いま」をお聞かせください。

ヨガトレ[®]教育は、いきなりシステムを導入するものではありません。
現場の課題や悩みを伺いながら、その解決のヒントになるかどうかを共に探していきます。

私たちは導入を無理に進めることはありません。

課題解決のヒントとなる時間になれば、それもまた意味のある対話だと考えています。

よりよい環境づくり。それは子どもたちだけでなく、

働く人々、そしてそこに集まるすべての人のためのものです。

その環境づくりのサポートをヨガトレ[®]教育を通して実現したい。

それが株式会社 yoga i.um の思いです。

まずはお気軽にご相談ください。